

医薬品タイムリー情報

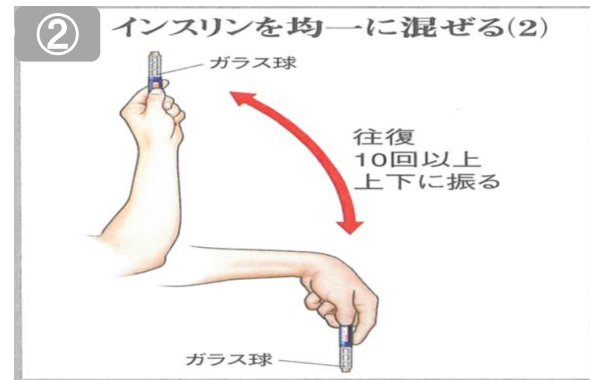
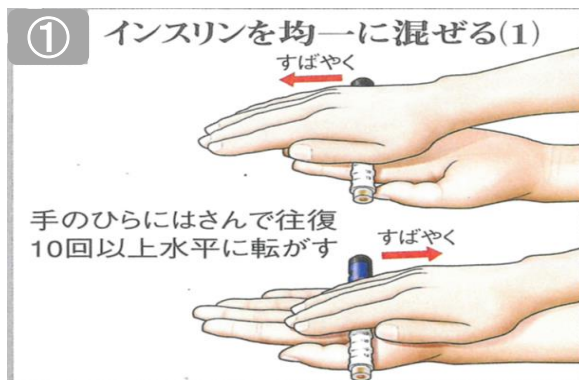
インスリン懸濁製剤の適正使用について

(ノボラピッド30ミックス注フレックスペン・ノボリンN注フレックスペン)

インスリンの懸濁製剤は、注射施用前に懸濁操作が不十分だと血糖コントロール不良及び低血糖の発現の可能性があります。

◎ ノボラピッド30ミックス注フレックスペンの正しい懸濁方法

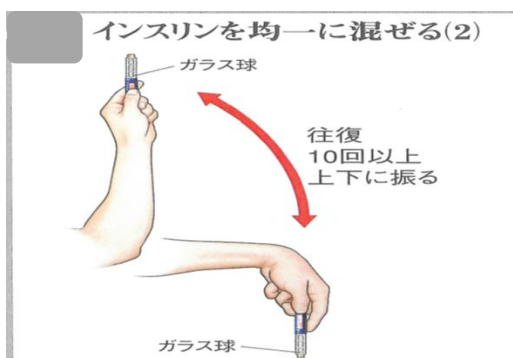
- 初回操作時は①、②の操作を、2回目以降は②の操作を毎回行ってください。
※カートリッジの壁に白いものが残っている場合は、①の操作から繰り返して下さい。



- ① フレックスペンを室温に戻してから、両手のひらにはさみ、10回以上水平に素早く 転がして下さい。
- ② カートリッジ内のガラス球が両端まで移動するように、フレックスペンを上下に往復10回以上振って下さい。
注射液が均一に濁っていることを確認して下さい。

◎ ノボリンN注フレックスペンの正しい懸濁方法

- 次の操作を、毎回行ってください。



カートリッジ内のガラス球が両端まで移動するように、フレックスペンを上下に往復10回以上振って下さい。
注射液が均一に濁っていることを確認して下さい。
※カートリッジの壁に白いものが残っている場合は、懸濁操作を繰り返して下さい。

* インスリン製剤の適正使用の徹底を、お願い致します。